



給食だより



R6年度 第6号 (12月) 下鳥羽こども園 601-3963

〈 もうすぐお正月です 〉




お正月には、日本に昔から伝わるお正月ならではの食べ物を食べます。


それぞれの食べ物には意味があり、いろいろな願いが込められています。

・おせち

おせち料理とは新年や節句などの祝いの日に食べる日本の伝統料理のことです。



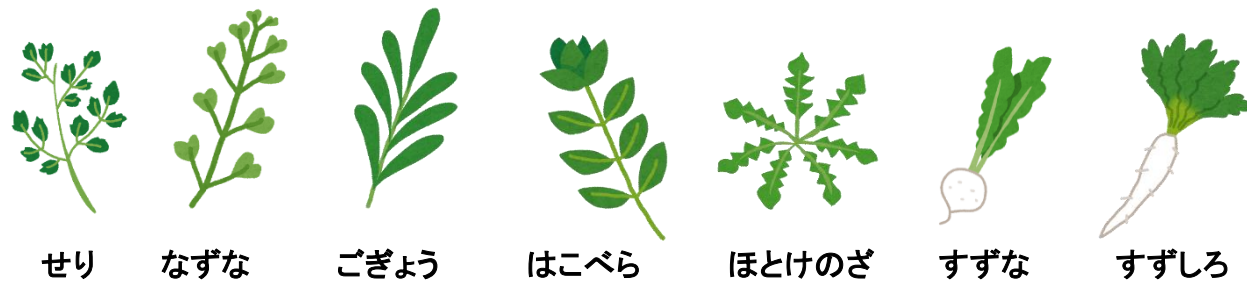
おせち料理と意味



- ・黒豆…元気でまめに暮らせるよう健康を願う
- ・昆布巻き…昆布は「よろこぶ」の語呂合わせ
- ・煮しめ…様々な具材を一緒に煮ていることから
家族一緒に仲良く結ばれることを願う
- ・くわい…大きな芽が出ることから、立身出世を願う
- ・えび…姿が丸く曲がっていることから
腰が曲がるまで長生きできるよう願う

・七草がゆ

1月7日に七草を入れたおかゆを食べ、お正月のご馳走に疲れた胃腸をいたわり、1年間の無病息災を願います。



園では、1月6日の給食におせち、1月7日のおやつに七草がゆを提供する予定です。

お楽しみに！

〈 防災給食を実施します 〉

もしも、地震が起きてガスが止まったら？洪水で電気が止まったら？
 そんな時の為に園では食材の備蓄をし、緊急事態でも対応できるように考えています。
 子ども達に安全で安心した状況で給食を食べてほしい。
 子ども達にできるだけお腹を満たしてもらいたい。という思いから
 今回は米、マカロニなどの乾物や玉ねぎ、じゃがいも、人参などの備蓄できる野菜を
 使用した「防災メニュー」を1月16日の給食として提供する予定です。
 ご家庭でも、非常食や備蓄品を確認する機会にしてみてくださいはいかがでしょうか？

安心できる非常食



①普段から食べ慣れたものであること

不安でいっぱいの子供達にはせめていつもの味で安心感を提供してあげたいもの。普段の食事やおやつと似たものを選びましょう

②おいしいこと

災害時だからこそおいしさが大事。いろいろな商品を試してみて食べやすいものを選びましょう

③水や火がなくてもすぐに食べられるもの

ライフラインが停止した際に便利なのはもちろん、余震が続くときは落ち着いて食事する時間が減るため開封してすぐに食べられるものが望ましいでしょう

